

区議会だより

発行/江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
ダイヤルイン 5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

220号の
主な記事

- 第4回定例会概要、新年のあいさつ.....1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況.....2 ページ
- 代表質問、一般質問..... 3~5 ページ
- みなさんと区議会、議員提出議案の概要.....6 ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧.....7 ページ
- 江戸川区議会の1年間.....8 ページ

第4回定例会日程

- 11月26日..... 議案上程、委員会付託、
表決
- 30日..... 代表質問、一般質問
- 12月 1日..... 一般質問
- 2日..... 議案審査
- 3日..... 請願・陳情等の審査
- 9日..... 委員会報告及び表決

平成27年第4回定例会

補正予算を含む議案30件を可決

「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む意見書4件を可決

平成27年第4回定例会は11月26日から12月9日までの14日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、私立保育園等委託費の増額などを計上した補正予算を含む26件の議案と報告3件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員から「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む5件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。会



猿の干支鈴 (希望の家利用者作成)

議録の詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成28年の新春を迎え、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。



福本みつひろ議長

昨年を振り返りますと、江戸川区にとって大変実りの多い一年でありました。中でも、本区のみよき住民性・地域性を象徴するような出来事がありました。「美し国づくり景観大賞」の受賞です。時間をかけて、区民の皆様との協働でつくりあげてきた「水辺風景の再生」や「水と緑と花の景観まちづくり」などの取り組みが高く評価されたことは、地域のまちづくりを微力ながらサポートさせていただいた江戸川区議会にとっても、大変喜ばしいことです。



中道たかし副議長

また、スポーツの分野では、若い力が躍動しました。夏の甲子園では関東一高がベスト4に進出し、とりわけ、オコエ瑠偉選手の活躍には目を見張るものがありました。また、卓球では村松雄斗選手らが世界大会などで活躍、さらに水泳の池江璃花子選手は競泳・ワールドカップ東京大会において3種目を制し、日本新記録を樹立するなど、新たな若い力の台頭により、大いに盛り上がりを見せたところです。こうした本区に所縁のある若いアスリートの世界的な活躍は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、区内スポーツの益々の発展を期待させます。昨年の第3回定例会では、区内在住・在勤のアスリートを支援し、区民のスポーツの機運を一層高めるため、「江戸川区スポーツ夢基金条例」を全会一致で議決いたしました。これからも江戸川区議会

は、区民の皆様と共に区内スポーツの振興とあわせて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げてまいります。

一方、区の抱える課題は多岐に渡っています。例えば、長年の課題である水害対策については、高規格堤防をはじめとして、近隣区との災害時広域連携や公園などへの防災施設の設置。また、子どもたちの豊かな未来にむけては、総合的な子どもの貧困対策や充実した教育環境など、今後も問題解決に向け、精力的に取り組んでまいります。更には認証保育所の保育料の助成については、かねてより区議会から要望していたところですが、今後実現の方向で動きが出てまいりました。引き続き、区民の皆様の声をかたちにするため、努めてまいります。

また、区議会のこうした動きをより分かりやすくするための努力もしております。平成27年第1回臨時会からインターネット中継に手話通訳を導入し、さらに予算・決算特別委員会では会議の様子をリアルタイムでインターネットでの中継を開始しました。今後も身近な江戸川区議会への取り組みを進めてまいります。

世界に誇れる、住み続けたい都市の創造のため、皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健康ご多幸をお祈りして年頭のあいさつといたします。

平成28年新春

江戸川区議会 議長 福本みつひろ
副議長 中道たかし

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、民維未…民主・維新・未来、共産…日本共産党 生ネ…生活者ネットワーク

(議長を除く 計43名)

Table with columns: 件名, 概要, 会派 (自民, 公明, 民維未, 共産, 生ネ, 須賀清, 笹本, ます, 中津川, 岩田), 賛成, 反対, 結果. Rows include 区長提出議案 (budgets, regulations), 条例(一部改正), 報告, and 議員提出議案.

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 付託委員会名, 番号, 内容, 結果. Includes items like '30号 裁判所、検察庁、警視庁、各監督機関、各弁護士会...' and '31号 沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現...'.

区政への質問

11月30日に代表質問および一般質問、12月1日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問



子育てしやすい日本一の街 住み慣れた地域での介護を

自由民主党
須賀 精二

少子化対策として、若い保護者への経済支援、母親が働きやすい環境整備や保育士不足の解消などの関連施策を着実に進める必要がある。子どもの笑顔があふれる、子育てしやすい日本一の街をめざし、経済的な理由から認可保育園を希望しているが認証保育所を利用せざるを得ない保護者に対して、行政サービスの受益格差が生じないように、保育料負担軽減措置を。

4月に新制度が発足し、さまざまに状況が変化している中、認可保育園の待機児童が保育料の高い認証保育所に通わざるを得ない状況は確かにある。特に低所得の方への対応については、現在研究中で、できるだけ前向きな方向で新年度に結論を出したい。

これからの地域福祉について

①できる限り住み慣れた地域で生活できるよう創設された現在の介護保険制度(地域密着型のサービス)はまだ十分ではない。今後の体制整備の予定は。また、地域包括ケアシステムは熟年者や障害者などの居場所としての福祉拠点づくりが最も重要であるが、今後の拠点づくり拡大に向けた考えは。

②ITを使った認知症の方の見守りや親亡き後の障害者のグループホーム拡充など、魅力的な福祉の推進を。

①長期計画構想時から、協働という理念を掲げ、今では地域力に対して多くの区民の理解を得ているが、さらに地域力の充実に努める必要がある。現在取り組んでいる地域包括ケアシステムも協働の一つであり、これを定着させることでさまざまな分野に拡大し、区と区民が力を合わせることで、合理的で豊かな地域福祉を進めることができると考えている。

②親亡き後の障害者に対する支援として空き店舗等を活用したグループホーム整備の支援を検討しており、今後の拡大に向け、早期に具体的な支援を構築していきたい。

建築基準法の改正により、大規模木造建築がより建てやすくなり、さらに大規模木造建築物を建設する際の建設費の支援や基本計画策定支援などが拡充された。子どもたちの学習環境や精神面での影響に配慮し、これからの学校建築に木造校舎の建設を。

コストの問題などについて区民の皆様からご理解を得られれば研究を進めていく。

本区は区と区民が力を合わせ、環境整備に取り組み、「美し国づくり景観大賞」に選ばれた水辺環境や葛西臨海水族園をはじめとした数々の観光名所がある。本区の魅力を活かした観光まちづくり施策についての考えは。

緑豊かな水辺をメジャーな観光資源とするには集客力のあるイベントを開催するなど水辺をどう活用するかが問題である。また、江戸川

区の魅力を売り出していくには区の取り組みだけでなく、全区民的な理解や協力が必要であり、区民のおもてなしの心の啓発を進めていく。



東北大学「国際会計政策大学院」と 地域の連携について

10月に平井4丁目に開設された東北大学の「国際会計政策大学院」の教室不足の解決策として、閉校予定の平井第二小学校の活用を。

東北大学側から事業拡大に伴い拠点として平井第二小学校を利用したい旨の要望があった。区民を対象とした授業など地域に貢献するような大学を目指していきたい。議会や地域住民の同意のもと誘致の方向で進めていきたい。

東北大学「国際会計政策大学院」誘致を 平井第二小の後利用で実現へ



公明党
うざわ 悦子

大規模水害時の対策について

①荒川中堤の堤防強化の目的や完成時期など工事の具体的な内容は。

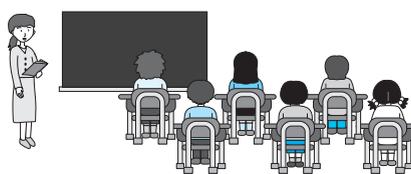
②周辺自治体と連携した大規模水害時の広域避難を含めた水害対策の今後の方向性は。

①高潮対策として1メートル程度の中堤のかさ上げをし、機能強化を図っている。完成時期は未定だが、早期整備を要請している。

②江東5区で今後の方策を探しつつ、具体的な課題を見出し、関係機関に働きかけていく。

発達障害の子どもたちに配慮し、教室や授業におけるユニバーサルデザイン化の推進と全教員へ理解を深める研修を。

学校間で意識の差はあるが、教育課題実践校の研究結果を踏まえ、教員の指導力向上と子どもたちの学びの手助けとして、全教員に重要性を浸透させていく。



教室や授業にユニバーサル デザインの推進を

東北大学「国際会計政策大学院」について

①平井第二小学校閉校後に大学院として活用を。

②地域や地元企業の連携についての考えは。

③留学生の帰国後も継続的な国際交流を。

①大学院は区にとって魅力的な拠点となる。議会や地域に相談のうえ、検討を進める。

②大学院側も地域との連携を希望しているが、議会や地域の理解のもと取り組んでいく。

③帰国後も交流や共同研究を期待しており、本区の国際化に繋げていきたい。

都の補助のもと、中小企業支援を行っているが、今後の区内中小企業対策の進め方は。

従前の中小企業対策を継承しつつ、都の施策なども参考に新しい施策を拡充していきたい。

都市交流の現状と今後の展望や課題は。

現在、茨城県城里町と北海道の木古内町から交流の申し出がある。城里町とは防災協定を結び、木古内町とは物産展の可能性を検討している。じっくり交流を進めていきたい。

加入率の低い自転車保険の加入促進と自転車利用者に「自転車安全利用5則」の周知を。

本区は自転車利用者が多く、狭い道路も多いため、車道と歩道の区分けの中で走行ルールの徹底が難しい。保険の加入促進も含め、あらゆる機会を捉えて自転車利用の周知を行う。

いろいろな意味で トレーニング!!



民主・維新・未来
金井 しげる

被災からの早期復旧には住民同士の共助の力が重要であり、日頃の防災訓練でさまざまな被害を想定した災害時の意識確認のためのシミュレーション訓練の実施を。また、防災意識をさらに高めるために防災対応ゲームのようなリスクコミュニケーションツールを地域防災訓練等に導入を。

災害対策において日頃のイメージトレーニングの訓練は大変重要であり、その手法として、防災対応ゲームなどを繰り返し実施することは大いに意義がある。既に実施している同様の訓練も含め、区職員や関係機関、区民とともに繰り返し実施していくことが大切である。

運動不足は健康面や精神面への悪影響、社会の活力の喪失、医療費コストの増大などにつながる問題であり、体力向上・生活習慣病予防はすべての世代で取り組むべき課題である。公園を利用したさらなる健康推進の取り組みとトレーニング器具の設置を。

区内の470公園のうち、174カ所に446基の健康器具を設置しており、そのうちトレーニングに関するものは129基設置している。高齢者の健康維持、子どもの体力向上のため、今後もこれまでと同様に積極的に増やしていきたい。



公園を活用した健康推進を

全国で組体操による骨折等の事故が頻発している。本区においても学校の運動会で組体操が取り入れられているが、安全対策や指導についての考えは。

組体操の実施には、なにより安全が大切である。児童の発達段階や体力、経験などを踏まえた適切な指導をするように教育委員会より通知している。校長会と基準等を検討しており、今後も計画的な指導、十分な安全配慮を徹底していく。

中学生の姿勢への影響や家庭での出費を考慮し、スポーツバッグタイプの指定かばんを機能性に優れたリュックタイプに変更を。

通学カバンはリュックタイプが増えてきており半数の学校がリュックタイプである。カバンの種類は、各学校が地域や子どもの実態を踏まえて保護者等と協議し、決めていく。

介護の継続、小中学校の連携、スラローム駐車場は仮設に



日本共産党
大橋 みえ子

介護保険制度について

- ①要支援者が受けているサービスや事業者が受ける介護報酬についての今後の見通しは。
 - ②介護福祉士の育成に区独自の奨学金制度を。
 - ③「2割負担の廃止」、「総合事業の上限額設定の廃止」及び「社会保障の財源として大企業に税負担を求めること」について国へ要望を。
- ☞ ①2017年度までの3年間はサービスの中身を変えず、介護報酬の水準も下げない。2018年度以降については今後検討していく。
- ②有資格者を増やすことは、全国的な課題であり、区としても現在検討を進めている。
- ③制度拡大の一途は制度の維持が危ぶまれるため、特定の項目のみ国に要求する考えはない。



介護保険制度について

小中一貫校について

- ①これまで取り組んできた小中連携の成果は。
 - ②小中一貫校と一般の小学校とは異なる学習内容で学ぶことになるのか。
 - ③小中一貫校よりも小中連携の充実を。
- ☞ ①教員と児童・生徒の交流が深まり、教員の9年間を見通した教育観が醸成された。
- ②現在、基本方針を策定中で、その中で小中一貫教育のあり方についても検討中である。
- ③小中一貫教育を視野に入れつつ、小中連携を深め、充実させていきたい。

情緒障害等通級指導学級について

- ①特別支援教室の設置にあたり、教員や保護者の声をどう反映させるか。
 - ②拠点校でのグループ指導ができる体制を。
 - ③各学校への巡回指導時の学習専用室の設置を。
- ☞ ①事務局、校長及び教員の検討会を開いている。保護者への説明会も順次行っていく。
- ②保護者等の要請に応じて通級指導システムを残す等により対応を行っていく。
- ③計画的にエンカレッジルームを設置している。

カヌースラローム競技場建設について

- ①競技場予定地の第二駐車場の代替地は。
 - ②区民要望を反映した施設の後利用を。
 - ③競技終了後の施設の維持管理の主体は。
- ☞ ①第一駐車場を立体化する方向で進めている。景観を損なわないよう都と調整している。
- ②将来展望を含めて都に意見を述べていく。
- ③現在、都が運営計画を策定中である。

一般質問

都立篠崎公園早期高台化の促進！公正・公平な税運用の推進！



自由民主党
大西 洋平

オリンピック・パラリンピックなどの国際大会での活躍が期待されるトップ選手であつて

も、費用面などの支援体制は万全ではない。2019年に日本でラグビーワールドカップの開催、2020年には東京五輪開催を控え、本区でもスポーツの機運が高まっている中で、第3回定例会で可決された「スポーツ夢基金条例」に対する区長の思いは。

☞ スポーツ夢基金は選手の目標や夢を区民と共有するための仕組みであり、海外と比較して日本の選手に対する支援は薄いため、寄付金をもとに財政的な支援を行う。江戸川区に在住在勤で世界大会等で活躍できる人を応援するために、現在情報収集を行っている。

安全・安心な高台づくりについて

①国などが行う大型事業により発生する建設残土を土地の高台化などに活かす「マッチングによる高台整備事業」は事業コストの低減や高台化事業の早期整備などが期待されている。この事業の創設を踏まえ、都立篠崎公園の高台化の早期実現に向けた区長の考えは。

②高規格堤防事業の実施にあたり、さまざまな議論がある中、区は該当地区の方へ丁寧な説明を行ってきた。より一層、区民の方々の高規格堤防への理解を深めるため、わかりやすい促進ツールを作成するなどの取り組みを。

☞ ①平成24年に東京都と篠崎公園の高台化と森林公園の創出を決めており、早期整備を望んでいる。まずはスーパー堤防事業を進め、残土活用は手法の問題となる。

②近年はスーパー堤防の話題が、報道関係にも大きく取り上げられ、区民の方々がスーパー堤防について良く理解してくれていると思う。さまざまな意見や反対はあるが、大勢の意見を尊重して実施していく。

公正・公平な税運用について

①区は生活保護の悪質な不正受給に対し、不正受給及び不当要求等の防止や生活保護返還金について積極的に取り組んできたが、平成26年度生活保護費返還金収入未済額は23億円で5年前の約2倍の金額となっている。悪質な滞納者に対しては毅然とした対応が求められるが、今後の生活保護返還金への取り組みは。

②ジェネリック医薬品の普及は患者の医療費負担の軽減や医療保険による財政面の改善等につながるものであり、区民への普及・促進が必要である。本区でも医師会や薬剤師会などの関係機関と連携し、ジェネリック医薬品の使用率向上に向けたさらなる取り組みを。

☞ ①4月の生活保護法の改正に伴い福祉部署の調査権限が強化されたことにより、より一層不正受給の防止に努め、調査も行っている。収入未済額23億円の37%がいわゆる悪質な不正受給なので、対象を見極め適正な債権管理業務に取り組んでいく。

②医療機関の積極的な取り組みにより、本区のジェネリック医薬品の使用率は23区で3番目に高い。医療機関や区民にもさらなる周知を行い理解を深めていく。

☞ ボールを使用できる広場として、地域から開放が望まれている松島四丁目区有地と隣接する都立地今後の活用構想は。

☞ 都立地を区に譲渡しないという都の当初の意向が変わりつつあるので、地域の意向を踏まえ、利用目的等を調整しながら、早期の用地取得を進めていく。

災害対策・健康施策の拡充！妊娠期からの支援の強化を！



公明党
竹平 ちはる

災害対策のさらなる取り組みについて

- ①新設された公園は防災施設が設置され、地域の防災活動の拠点として活用されている。既存の公園にも防災施設の整備を。
- ②応急排水栓設置の今後の進め方と応急給水用資器材セットの使用について仕組みづくりを。
- ③避難所運営協議会の着実な推進と全地域で実効性のある避難所開設・運営訓練の実施を。

☞ ①緑基本計画の防災への取り組み方針のもと防災施設を設置してきた。避難者が集まると想定される公園から優先的に設置していく。

②資器材の保管や訓練について町会・自治会と協力し、仕組みづくりを進めていく。

③全学校への避難所運営協議会設置を進める。職員の被災地支援の経験を活かし、地域と協力し避難所運営の仕組みづくりを進める。

☞ ①緑基本計画の防災への取り組み方針のもと防災施設を設置してきた。避難者が集まると想定される公園から優先的に設置していく。

②資器材の保管や訓練について町会・自治会と協力し、仕組みづくりを進めていく。

③全学校への避難所運営協議会設置を進める。職員の被災地支援の経験を活かし、地域と協力し避難所運営の仕組みづくりを進める。

健康意識の向上に向けた取り組みについて

- ①小中学校からガンや生活習慣病に関する教育や、成人式で飲酒と喫煙のマナーの啓発などを行い、若い世代の健康意識の向上を。
- ②区内の企業や団体と協力し、働く世代の健康意識向上への取り組みを。

☞ ①小中学生にがん教育を行い、家庭で授業の話をする事で親世代の受診率の向上につながると考えられているので、実施を進めている。

②関係機関と協力した減塩教育や区内企業の事業主に対して、健診の受診や無理のない働き方など健康意識向上の働きかけをしていく。

妊娠から出産、子育てへの切れ目のない支援について

- ①健康サポートセンターの機能を強化し、妊娠から保健師等の専門職による支援を。
 - ②妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うため、保健師のさらなる増員を。
- ☞ ①妊娠届の提出時に健康サポートセンターに来てもらえるよう産婦人科などと協力して周知を進め、保健師が直接すぐに対面できる仕組みづくりを進めていきたい。
- ②高齢化等の対応に伴い、3年間で12名の保健師を増員した。状況に応じて増員していく。

教育環境の整備とさくらシンポジウム



民主・維新・未来
小野塚 あやか

☞ 家庭や学校外で中高生の悩みなどを汲み取る点でも、学校と共育プラザの連携強化が必要である。教育委員会として共育プラザの位置づけと学校との連携についての考えは。

☞ 地域社会を担う人材を育成する場所であり、悩みなどを話しやすい場所でもあると考える。学校との連携については、運営協議会で校長や副校長と学校・地域の情報交換を行っており、今後も幅広く交流を図っていきたい。

☞ 同居をしていない交際中の男女の間で起こる暴力を意味するデートDVについて、中学校・高校での実態調査の実施状況と今後の実施予定は。また、デートDV防止講座を学校で積極的に実施するなど啓発活動の推進を。

☎ 現在、実態調査の予定はないが、相談を受けている女性センター等で、ある程度実態が把握できている。また、DV被害の拡大防止のため、関係機関と連携し、学校における人権教育や男女平等教育に加え、教員への人権研修など若い世代へのDV防止啓発を進めていく。

☉ 音楽を通じた情操教育について

- ①想像力の育成やいじめ防止のため、音楽を通じた情操教育の実施を。
- ②小中学校での特色ある音楽教育の実施状況は。
- ☎ ①今後も音楽教育を通じ、豊かな心を育む教育を進める。
- ②小学校ではオーケストラ、中学校では和楽器を用いた鑑賞会などを実施している。

☉ 第35回全国さくらシンポジウムの開催について

- ①広告協賛の申込状況などさくらシンポジウム開催の構想や現在の進捗状況は。
- ②シンポジウム開催に向けた新川さくら館の今後の展望と取り組みは。
- ☎ ①協賛金は現在68件で約500万円集まっている。本区らしい演出を取り入れ、タワーホールで記念講演や交流会を実施する。
- ②地域とともに、にぎわいの拠点として新川さくら館をはじめとして船堀一带の活性化につなげ、桜のまちとして全国から注目されるような取り組みをしていく。



LGBTと人権尊重、上篠崎スーパー堤防事業中止を

日本共産党 牧野 けんじ

☉ 性的マイノリティ・LGBTと人権について

- ①現状や実態についてどのように認識しているか。また、当事者から直接話を聞く機会を。
- ②次期男女共同参画推進計画策定時には、性的マイノリティの人権も検討課題に。
- ③区民向けの講座・パネル展示の実施と区のホームページ等で相談窓口の案内を。
- ④渋谷区や世田谷区のようなパートナーシップ制度の検討を。
- ☎ ①社会情勢として話題にはなっているが、区民の深い理解が得られているわけではないので、人権問題として多くの区民に分かってもらう努力をしていく。機会があれば当事者に会って話を聞きたい。
- ②男女共同参画推進計画の改定時まで、よく勉強し、どのようにするか決めていく。
- ③相談等組織的対応については十分研究する。
- ④是非論はいろいろあり、研究課題としたい。

☉ スーパー堤防と上篠崎1丁目北部土地区画整理事業について

- ①住民の納得が得られないままのスーパー堤防と一体の区画整理事業の実施は絶対に許されない。ましてや北小岩1丁目東部地区と同様に、「直接施行」という強制力なしには実現し得ない事業は、すぐにでもやめるべきではないか。
- ②上篠崎1丁目北部土地区画整理事業を推進するための「まちづくり準備会」は、土地区画整理法に基づく区画整理審議会とは異なるのか。また、本来の審議会に代わるような審議は、準備会で行うべきではない。
- ☎ ①多くの住民の命の安全と財産、その他地域のことを考えると時間はかかると思うが無駄とは言えない。強制執行については、やり

たくはない。そうせざる得ない状況もあり、絶対にやらないという宣言はできないが、やらないという方針を進めていきたい。

②これまで区画整理は同様の手法をとってきている。準備会は勉強会であり、審議をする場ではない。法的な効力をもつ審議会とは全くの別物である。



踏み込んだ子育て支援の実施と、河川行政のあり方

生活者ネットワーク 本西 光枝

☉ 子育て中の親支援について人との関わりが希薄な今こそ、希望の有無を問わず新生児訪問事業全戸実施を。指導型ではない参加者中心の体験型講座を産後の早い時期に実施を。

☎ 訪問の申し出のあった家庭に対応する方針。参加者中心の講座は研究課題としていく。

☉ 親子を見守る地域拠点である子育てひろばのすべてに支援者の配置と民間の力を取り入れ、多様な運営の展開を。また、ひろば内一時保育の実施の拡大や拡充を。

☎ 常駐スタッフがいないひろばは保健師が常に対応できる体制であり、民間活力の導入は、今後検討する。ひろば内一時保育はサービスであり、正規の保育事業としての位置づけではない。

☉ 河川整備の進捗状況は。流域自治体として、効果的で合理的な堤防工法を考えるべき。

☎ 荒川全川で26年時76.5km、江戸川は23年時54.4kmの流下能力が不足。区内だけのデータはない。治水に責任のある国の方針に協力していく。



国・想う次世代へつなぐ教え思いを問う

無所属 須賀 清次

☉ 次世代の体と心の栄養のため、和食の箸の持ち方と童謡・唱歌をどのように教え導くか。

☎ 箸の持ち方は給食で食文化と合わせ指導し、童謡については、小学校全学年で活用し、伝統的音楽文化を大切に教育を行っている。

☉ オリンピック・パラリンピックを成功させるため、おもてなしチームの結成を。

☎ さまざまなアイデアを頂き、オリンピックに向けたロードマップを作成中である。



第二葛西小学校の耐震性に問題はないか

無所属 ます 秀行

☉ マンションにおける駐車場の附置義務について問う

①本区で制定している駐車場附置義務を課す条例、都で定めている条例及び駐車場法との法的整合性は。

②区内マンションの駐車場は高齢化などによって多くの空きが存在している。区民の駐車場の需要とバランスのとれた規制を。

☎ ①法は自治体の条例に規制内容を委ねている。区条例は都条例が規定していない点を

規定しており、整理ができている。

②平成23年に実施した実態調査から現状を把握し、平成25年に要件の緩和を行った。現状に合った柔軟な対応を行っていく。

☉ 第二葛西小学校の校舎に耐震性が疑われる件について問う

①耐震性が疑われる第二葛西小学校校舎に関わる私の出した調査要望の結果は。

②調査結果を受けて今後の対応は。

☎ ①すぐに事業者から聞き取り、現地調査の上、安全性に問題がないことを確認した。

②原因などについて調査を進め、既存の施設や今後建設するすべての施設の検証を行う。



総合教育会議及び大綱について文化・芸術の更なる振興を

公明党 佐々木 ゆういち

☉ 総合教育会議及び大綱について

①地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育行政における区長の役割が一層重要となった。改正法に対する区長の所見は。

②総合教育会議の今後の方針と会議の中で策定することが確認された大綱に対する考えは。

☎ ①教育委員会が教育行政を行うための条件整備をすることが首長の責任であると考えている。

②区の長期構想を基本に、総合教育会議の中で議論を重ね、本年度中に大綱を定めた。

☉ 多様化するいじめに対して、新たな防止策を積極的に取り入れ、いじめ対策の強化を。

☎ いじめに対する感度や認識を高めるため、スマートフォンの使用のルール等を盛り込んだ「江戸川っ子、家庭ルール」を作成した。

☉ 瑞江に移転する子ども家庭支援センターを中心に児童虐待防止をどう推進していくか。

☎ さまざまな課題はあるが、これまで同様に地域と協力し、全力で取り組んでいく。

☉ えどがわボランティアセンターについて

①ボランティアの拠点としての機能強化や人材の発掘など今後の取り組みは。

②関係団体と連携し災害時の機能強化を。

☎ ①積極的に地域貢献する区民意識を醸成しつつ、情報提供や普及啓発など役割を果たしていく。

②希望する区民に適切な助言や支援ができるよう災害ボランティアのあり方を究明していく。

☉ 文化・芸術の振興について

①文化・芸術振興のさらなる展開を。

②文化・芸術における若い世代への支援は。

③文化の祭典でもある五輪開催に向け、子どもたちへの教育面での文化・芸術の取り組みは。

④児童、生徒が一流の美術に触れる機会の提供を。

☎ ①金銭的助成や活動環境の整備を進めることで、本区の文化・芸術活動を高め、広めていく。

②学校での文化・芸術活動で関心を高め、それを助長するよう幅広い支援をしていく。

③教育レガシー創造プランを作成し、各学校で異文化理解を深める等の取り組みを検討している。

④修学旅行などだけでなく、長期休業期間に一流の作品に触れる意義も伝えていきたい。



みなさんと区議会 ～江戸川区議会ってどんなところ?～

公職選挙法の改正により、選挙権が20歳から18歳にまで引き下げになります。

はじめて選挙に行かれる方をはじめ、より多くの方々に、議会をもっと知っていただくため、今号では議員の仕事や定例会など、いちばん身近な『江戸川区議会』がどのようなところか、ご紹介させていただきます。

また、区議会ホームページでは会議録や過去の区議会だよりなども見ることができますので、併せてご覧ください。

江戸川区議会



区議会とは

意思決定機関として区長や区議会議員が提出した議案等の審議・議決や区政のチェックを行います。



区議会議員とは

選挙で選ばれた区民の代表です。私たちの暮らしに大切な区の仕事を決めていきます。



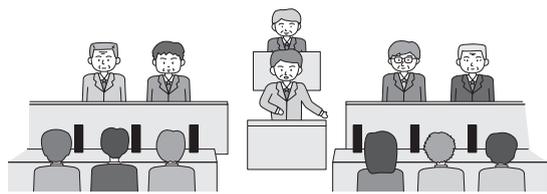
任期と定数

江戸川区の議員の定数は条例で44人と定められています。議員の任期は4年間です。

44人 4年

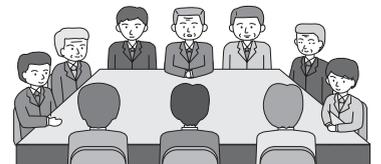
議員全員での話し合いの場①(本会議)

議員全員が、議場に集って開く会議を「本会議」といいます。毎年2月、6月、9月、11月に開かれる「定例会」と必要があるときに開かれる「臨時会」の2種類があります。



少人数での話し合いの場②(委員会)

少人数で専門的に調べたり話し合いを行う場を「委員会」といいます。委員会には常任委員会と特別委員会があります。



モニター (議員が質問する時の残り時間を表します。)

議長席

区長席

演壇

鋳物でできた議長席の背景

区の幹部席

氏名柱 (立てることで出席を表します。)

傍聴席から見た議場の様子

議員から出され議決された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —

○固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 へ〕

小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の28年度以降の継続を東京都に求める。

○マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書

〔内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣 へ〕

マイナンバー制度導入に伴う区市町村の通知カード・個人番号カードの交付による自治体の財政負担を軽減するため、平成28年度以降も地方公共団体情報システム機構に支払う交付金全額を国の負担とし、十分な予算措置を図ることなどを国に求める。

○夜間中学の整備と拡充を求める意見書

〔内閣総理大臣、文部科学大臣 へ〕

現在の夜間中学設置状況を鑑み、政府の掲げる一億総活躍社会実現のため、年齢、国籍及び居住地に関係なく希望する誰もが学べる夜間中学の全都道府県への設置促進などを国に求める。

○ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書

〔内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣 へ〕

脳脊髄液減少症に対して有効なブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)の保険適用や早期発見・早期治療のため、医療機関への徹底した情報提供などを国に求める。

江戸川区議会の1年間

4月

4月26日の選挙で
44名の議員が選出されました。



5月

平成27年第1回臨時会から
インターネット中継に
手話通訳を導入しました。



7月

区内の自転車盗難を減らすため、
区内各所で「自転車盗撲滅大作戦」に参加しました。
江戸川区総合防災訓練では
情報収集訓練や参集訓練を行いました。



10月

平成27年決算特別委員会より
インターネットでの映像配信を開始。



11月

区議会を身近に感じていただくため、
第4回定例会の初日に議場コンサートを
開催しました。

平成28年第1回定例会開催予定

- 2月19日(金) …… 本会議 (議案上程、委員会付託)
- 23日(火) …… 本会議 (一般質問)
- 24日(水) …… 本会議 (一般質問)
- 25・26・29日 } 予算特別委員会
- 3月 1・3・4・7・9日 } 予算特別委員会
- 10日(木) …… 常任委員会 (議案審査)

- 3月11日(金) …… 各常任委員会 (請願・陳情等の審査)
- 23日(水) …… 本会議 (委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
※傍聴の受付は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。
なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。